

POLAND 2027

World Scout
26th_e Jamboree
Scout Mondial



JAPAN CONTINGENT

UPDATE # 2

第26回世界スカウトジャンボリー

26WSJ ポーランド 2027
日本派遣団向け情報 # 02
発行日：2026年1月30日



公益財団法人
ボーイスカウト日本連盟
SCOUT ASSOCIATION OF JAPAN

TABLE OF CONTENT

前回の#1からアップデートされた主な内容

1. プログラムと象徴的枠組み(SYMBOLIC FRAMEWORK)

1-1 象徴的枠組みの導入.....	3
1-2 ジャンボリー・プログラムの詳細	5
1-3 サブキャンプ・プログラム	7
1-4 ジャンボリー・プラザ・プログラム	7
1-5 支援イベント	8
1-6 ジャンボリーボードゲーム「ブレイブリー」.....	8

2. サブキャンプと生活環境

2-1 サブキャンプの構成	9
2-2 ユニットの装備	9
2-3 サブキャンプ・プログラム	10
2-4 リーダーシップとコミュニティ支援	10
2-5 夏季期間中の気象条件と気候	10
2-6 生活施設	11

3. 食事とフードハウス

3-1 食料配布 - 参加者、ISTの食事	12
3-2 フードハウスの事前情報	12

4. 健康・安全・アクセシビリティ

4-1 健康と医療体制.....	13
4-2 安全とセキュリティ	13
4-3 ジャンボリーにおける「セーフ・フロム・ハーム(SFH)」.....	14
4-4 ジャンボリーにおける「アクセシビリティ&インクルージョン(A&I)」.....	14
4-5 A&Iチームの役割と派遣団の責任	15
4-6 勇敢にインクルーシブな体験を想像する	15
4-7 ジャンボリーにおけるリスニング・イヤーズ	16

5. 国際サービスチーム(IST)準備状況

5-1 ISTプログラム	17
5-2 IST研修と開発	17
5-3 IST準備スケジュール	18
5-4 到着日と出発日	18
5-5 ISTメンバーとして期待できること	19

6. その他情報として

6-1 派遣団の規模と成人ボランティア	20
6-2 派遣団本部(cMT)の学習と自己啓発	20
6-3 特別役割のためのIST事前選考	21
6-4 HOSTED HOSPITALITY PROGRAMME	21



1. プログラムと象徴的枠組み(SYMBOLIC FRAMEWORK)

1-1 象徴的枠組みの導入

第26回世界スカウトジャンボリー2027の象徴的枠組みは、スカウト活動を通して誰もが知っているシンプルなもの、つまり物語を語るという点に基づいています。この象徴的枠組みは、参加者がモジュール・プログラムを歩む道のりのアウトラインとなります。

モジュール・プログラムは、場所(ビーチ、村、森、都市など)にちなんで名付けられており、その拡張部分もサブキャンプ名に選ばれたポーランドの植物の名前に反映されています。ハブは、植物の5色にちなんで名付けられ、サブキャンプを結びつけています。この象徴的枠組みは、10人の仲間を通して、勇敢に生きる物語を生き生きと表現します。その名前が示すように、彼らは参加者と共に旅をします。それぞれの仲間には独自の物語があり、道中で模範となり、信頼できる友人として寄り添います。



・アンナ (ANNA) : 自らの知識や伝統を惜しみなく共有する。困っている人や生き物を見かけると見返りを求めず助けるが、決して自分の考えを押し付けない謙虚さを持つ。



・ポーラ (POLA) : アンナの双子の姉妹。変化を恐れず、常に新しいことを学ぶ意欲に溢れている。伝統の進化を信じ、オープンな心で困難に立ち向かい、必要な時には勇気を持って助けを求める。

・バルビナ (BALBINA) : 恐怖を乗り越える勇気の持ち主。暗闇を怖がりながらも、懐中電灯で道を照らして仲間を助けることで喜びを見出す。



・ボグナ (BOGNA) : 仲間を信頼し任せる勇氣がある。道に迷った際、仲間に地図を託して自分はグループの士気を高め、全員のケアに専念する役割を果たす。



・ミコワイ (MIKOŁAJ) : 自分の信念に忠実である。周囲から無意味だと思われても黙々と海岸の清掃を続け、その背中で周囲にポジティブな変化の波を起こす。





・ヤン（JAN）：対立を収める知恵を持つ。グループ内で意見が分かれた際、お互いの選択を尊重して一時的に別々の道を進み、後で合流するという柔軟な解決策を提案できる。

・セザリー（CEZARY）：仲間を置き去りにしない優しさを持つ。自分が夕日を見たいという強い願いがあっても、歩けなくなった仲間と一緒に残ることを選ぶ献身的な性格。* 1/30:キャラクターイメージ未発表



・セバ（SEBA）：好奇心と正直さを大切にする。自分が広い世界でどのようにフィットするのかを探究したいと考え、不安な時でも自分の感情を素直に話し、勇敢に行動する。

・アレクス（ALEKS）：忍耐と帰属を象徴する。長く困難な一人旅の末、仲間の焚き火の光を見つけて合流し、困難な道のりこそが真の友情と居場所に繋がることを証明する。



・ゾフィア（ZOFIA）：自分を省み、改善する勇気を持つ。自分の不親切な振る舞いに気づいた時、立ち止まって呼吸を整え、謝罪して行動を改めることで負の連鎖を断ち切る。

この10人の仲間はそれぞれ異なりますが、皆に共通することが一つあります。それは、ジャンボリーの旅路において、彼らはあらゆることを勇敢に行うということです。皆それぞれ異なる人間ですが、皆に共通することが一つあります。それは、ジャンボリーの旅路において、彼らはあらゆることを勇敢に行うということです。



1-2 ジャンボリープログラムの詳細

モジュールプログラム

モジュールプログラムは「勇敢に」をテーマに、さまざまな体験を通して、自分に挑戦し成長するためのプログラムです。活動はキャンプ場内だけでなく、自然や街、現地のスカウトとの交流など、幅広い場所で行われます。

森やビーチでの活動、グダニスクの街歩き、ポーランドのスカウトキャンプでの交流など、毎日新しい体験が用意されています。これらを通して、体力だけでなく、考える力や仲間と協力する力、気持ちの成長も促します。

プログラムは「モジュール」と呼ばれる活動の組み合わせで構成されており、期間中にすべてのモジュールを体験できるよう、計画的に進められます。活動は主に班・パトロール単位で行いますが、内容によっては個人やユニット全体で行う場合もあります。

多くのモジュールは午前・午後の時間帯で実施され、最終日は午前だけの活動となります。

	27.07	28.07	29.07	30.07	31.07	1.08	2.08	3.08	4.08	5.08	6.08	7.08	8.08	9.08	10.08
SUBCAMP NAME	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday	Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday	Sunday	Monday	Tuesday
DAISY BIRCH															
LILY FERN															
PIN WILLOW															
HAZEL NETTLE															
TULIP COSMOS															
REED OAK															
ASTER MALLOW															
VIOLET ELDER															
Evening programme				Opening Ceremony		120 Years of Scouting Celebration			Peace Event		Arena Event		Closing Ceremony		
	IST ARRIVALS	IST ARRIVALS	PARTICIPANTS ARRIVALS	FIRST DAY QUEST										PARTICIPANTS DEPARTURES	IST DEPARTURES

現地モジュール

ビーチモジュール／心身の健康

ビーチモジュールでは、スポーツやマインドフルネスを通して、**体と心の健康**を高めます。

海辺という自然環境の中で活動しながら、運動と心のケアの大切さを学びます。

このモジュールを通して、自分に合った**セルフケア**の方法を知り、ストレスへの対処力や回復力を身につけることを目指します。

このモジュールの教育目標：自己啓発へのコミットメントを喚起する(変化への適応)。

学べること

- 自分の変化や成長を前向きに受け止める力
- 心と体の健康を保つセルフケアの方法
- 自然とテクノロジー、オンラインとオフラインの上手なバランス
- 世代や文化の違いを超えて協力し合う姿勢

アクティビティ例

【身体の健康】 ビーチバレーボール、カイト(凧あげ)

【メンタルヘルス】 マインドフルネスや呼吸法を学ぶレジリエンス・ワークショップ時間やお金の使い方を考える、ライフスキルセッション

※すべての活動は、参加者が安心して自分のペースで参加できる環境で行われます。



森林モジュール

ブッシュクラフト／ウッドクラフト／開拓／キャンプクラフト

森林モジュールでは、火起こしや結び、シェルターづくり、開拓など、スカウトの伝統的な野外技能を実践的に学びます。自然の中で仲間と協力しながら活動することで、問題解決力やチームワーク、自然への理解を深めます。

学べること

- ・ 実践的な野外スキルと工夫する力
- ・ 自然とテクノロジーのバランスの取り方
- ・ 多様な仲間と協力し合う姿勢
- ・ 環境や自然を守る意識



アクティビティ例

- ・ キャンプクラフト: 結びを使った開拓、タープでのシェルター作り
- ・ ブッシュクラフト: 薪ガスストーブ作り、摩擦による火起こし
- ・ 木工: 木製スプーン作り、斧を使った薪割り
- ・ 開拓: テンセグリティ構造、キャンプテーブル制作

万華鏡モジュール

パーソナルバランスのためのセルフプランニングデイ

このモジュールでは、参加者自身が活動を選び、自分の一日をデザインします。創作活動やロールプレイ、マインドフルネスなどを通して、自分を振り返り、心と生活のバランスについて考えます。

学べること

- ・ 自分に合ったバランスの取り方
- ・ 創造力・問題解決力・変化への対応力
- ・ 多様な考え方や文化を尊重する姿勢
- ・ 仲間と協力し、学び合う力

アクティビティ例

アラブ、アフリカ、ヨーロッパ、アジア太平洋といった地域名は、活動場所ではなく、活動のテーマとなる文化や考え方を表しています。さまざまな国や地域の伝統や価値観を、体験型の活動を通して学びます。

批判的思考ゲーム(環境と行動)

脱出ゲーム(アラブ)

アラブ文化に根づく「なぞなぞ」や物語の要素を取り入れた脱出ゲームです。仲間と協力しながら謎を解き、チームワークや問題解決力、リーダーシップを楽しく身につけます。



ビレッジ／地域と地球市民 (グローバル開発ビレッジ)

このモジュールでは、**持続可能性・社会正義・地球規模の課題**について、体験型の活動や話し合いを通して学びます。身近な行動から地域社会、そして世界へと視野を広げ、**責任ある地球市民**として行動する力を育てます。

学べること

- ・ 創造力・問題解決力・批判的思考力
- ・ 世代や文化の違いを超えて協力する姿勢
- ・ 会の課題に対して自ら考え、行動する力
- ・ SDGs(持続可能な開発目標)への理解と実践意識

アクティビティ例

人間分野:天然素材を使ったエコなスクラブ作りを通して、環境や動物に配慮した消費を学ぶ

環境分野:太陽エネルギーを使った調理や実験で、再生可能エネルギーを体験

科学分野:pHの測定実験を通して、環境と科学の関係を理解

平等分野:ロールプレイを通じて不平等を体験し、公平で包摂的な社会について考える

1-3 サブキャンプ・プログラム

サブキャンプでの生活は、ジャンボリー体験の大切な一部です。

安全な環境の中で仲間と交流し、友情を深め、楽しい時間を過ごせるよう、**自由参加の夜間プログラム**が用意されています。

主な内容

・**自由時間アクティビティ:** パトロールやユニットを超えて、スポーツ、ボードゲーム、交流イベントなどに参加できます。

・連帯バッジ

個人やチームでのチャレンジを通して、「連帯」や平和、社会変革について学び、特別なバッジを獲得します。

・オープニングゲーム(初日)

サブキャンプエリアを巡りながら、持続可能なジャンボリーへの関わり方を学びます。

・文化の日

各国・各隊が食、衣装、習慣、ゲームなどを紹介し、文化交流を楽しむ一日です。



1-4 ジャンボリー・プラザ・プログラム

プラザは、ジャンボリーの中心となる交流エリアです。予約不要・自由参加で、毎日好きな時間に訪れることができます。

プラザで体験できること

- ・世界スカウトセンター／派遣団パビリオン
- ・ワンワールドテント(世界スカウティングの取り組み紹介)
- ・信仰と信条ゾーン(祈り・静かな時間・自己探求)
- ・平等ゾーン(多様性と包摂を学ぶ)
- ・パートナーパビリオン(国連やNGOなど)
- ・スカウティング博物館(多言語対応)
- ・スカウトショップ、フードハウス、交流スペースなど、世界中の参加者が集い、出会い、交流できる活気ある場所です。



ナショナル・パビリオン

ナショナル・パビリオンは、プラザ内に設けられる各国派遣団の紹介スペースです。各国の文化やスカウティング活動、SDGsへの取り組みを展示や体験型アクティビティを通して紹介します。

- ・一般公開エリアと、必要に応じたバックオフィスを設置
- ・他国やパートナーと共同での展示も可能

※詳細な運営方法やスケジュールは、後日案内されます。

1-5 支援イベント

ジャンボリーでは「Bravely(勇敢に)」をテーマに、勇気や行動力を体験的に学べるイベントが行われます。

主なイベント

・ ユースフォーラム

各派遣団から選ばれた参加者が模擬国連形式で集まり、世界の課題について議論し、現実的な解決策を考えます。

・ 合同食事会・多宗教儀式(8月1日)

スカウティングの伝統を体験し、仲間との一体感や勇気、リーダーシップを学びます。

・ ジャンボリーゲーム「BRAVELY」

特別なボードゲーム形式で、スカウトの精神や自己バランスの大切さを楽しく体験できます。

1-6 ジャンボリーボードゲーム「ブレイブリー」

ジャンボリーゲーム「ブレイブリー」は、チームビルディングと学びを兼ねた教育ゲームです。参加者は遊びを通じて、人生のさまざまな側面のバランス(セルフバランス)を学びます。教育、仕事、友情、家族、情熱、社会参加などを調和させる方法を探り、充実した人生とスカウト活動に活かします。



特徴

ジャンボリーのテーマ「BRAVELY(勇敢に)」に基づく教育的ゲーム 文化や言語に依存せず、誰でも参加可能。

簡単に始められるが、奥深く内省的な体験 チームワークと自己発見を促進。

学べること

自己バランスの重要性

スカウト活動を通じた協力・一体感・帰属意識

世界スカウトジャンボリーへの意識的な参加配布-初版はオンラインストアで無料(送料のみ)

5言語バージョン入り(英語、フランス語、スペイン語、アラビア語、ポーランド語)

※現時点での共有となるため、大会本部より詳細がき次第、別途お知らせいたします。



2. サブキャンプと生活環境

2-1 サブキャンプの構成

会場構成

- 今回のジャンボリーは4つの大規模ハブ(イエロー、レッド、グリーン、パープル)で構成されており、より大規模でつながりのあるジャンボリーとなっている
- サブキャンプ:各ハブに 4つのサブキャンプ があり、合計16サブキャンプ

参加者規模

- 各サブキャンプに約 2,250名の参加者

ユニット構成

- 1サブキャンプに約 56ユニット(隊)
- 各ユニットは 4パトロール(班)で隊を構成する
- 派遣団単独で登録できない場合は国際ユニットが編成される

ユニットの役割

- キャンプ生活の中心であり、最大40人の参加者(リーダー・保護者含む)の拠点

メリット

- グローバルなコミュニティ体験と、ユニットレベルの親密な絆を両立



2-2 隊・ユニットの装備

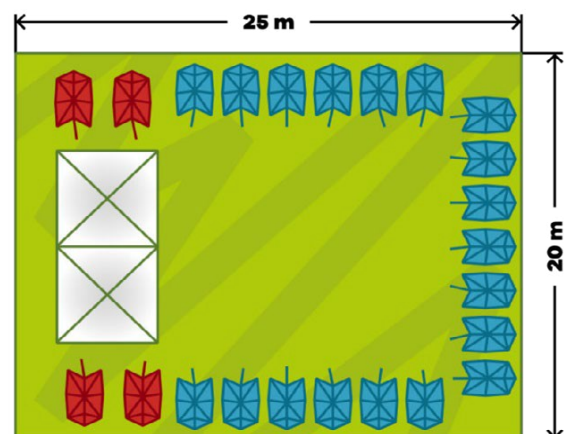
サブキャンプの設計と設備

<共通施設>

- サブキャンプのゲート
- サブキャンプ事務所・受付
- プログラム用屋根付きエリア・小ステージ
- スタッフ専用スペース(ミーティングテント・収納など)
- モバイル充電ステーション、医薬品用冷蔵設備

<ユニットスペース>

- 約20M×25M(総面積500㎡)
- 40名規模のユニット用に構造化されたレイアウト
- 就寝テントは分かりやすく快適に配置
- ユース参加者用テント、リーダー用テント(色やマーカーで識別)
- ユニットレイアウト例:テントサイズ 2.3M × 2.1M





2-3 サブキャンプ・プログラム

サブキャンプでは、コミュニティ形成と個々の体験を豊かにする多彩な活動が行われます。

初日のクエスト

- ユニットがスムーズに生活を始められるようサポート

ソリダリティ・バッジ

- ジャンボリー期間中に様々なチャレンジやアクティビティを実施

文化イベント

- 多様性と国際交流に焦点を当てた半日セッション

自由時間のアクティビティ

- 屋外遊具や静かなゾーンでのリラックス、バッジ交換会、ボードゲーム、サブキャンプステージでのインフォーマルなパフォーマンス

2-4 リーダーシップとコミュニティ支援

ユニットリーダーの役割:

- 若者のジャンボリー体験を形作る中心的存在

<毎日のユニットリーダー会議の目的>

情報共有:

- プログラム、ロジスティクス、安全に関する最新情報の提供

サブキャンプ調整:

- 円滑な日々の運営をサポートリーダーはユニットの生活を支えます。
- 参加者の安全・快適な体験を確保します。

Q&Aとフィードバック:

- リーダー間で質問に答え合い、意見を共有してプログラムの改善につなげる

コミュニティ構築:

- リーダー同士のサポートや友情のネットワークを育む。
- これらの活動は、ジャンボリー運営の円滑化だけでなく、強固なリーダーシップコミュニティの形成にも寄与します。

2-5 夏季期間中の気象条件と気候

今回の会場、ヴィスパ・ソビエシェフスカは、海に近いことから温暖な気候です。

7月と8月の平均気温は17℃、最高気温は21℃、湿度は55%です。海岸からの風が吹くため、時折風が強くなることがあります。

- 雨量は適度で、夏の月平均降水日は7日ですが、会場は整備が行き届いています。高台の草地で土壌が安定しており、長年の農業によって排水路と灌漑用水路が整備されています。そのため、雨が降ってもスカウトは安全に活動を楽しむことができます。
- 日よけ帽子、ウィンドブレーカー、レインコートを忘れずにお持ちください。
- 天候の変化もジャンボリー体験の一部です。また、長いペグを使ったテントもお忘れなく。風に強いので安心です。



2-6 生活施設

サブキャンプでの生活を豊かにする施設・設備が会場内に準備される予定です。

会場概要(グダニスク)

- ・ ジャンボリー会場は、参加者全員に安全・快適・持続可能な環境を提供します。
- ・ 数万人のスカウトが快適に過ごせるよう、基本的なインフラが整備されています。

給水

- ・ 市の上下水道に接続され、安全な飲料水を供給
- ・ 会場内に水補充用の蛇口を設置
- ・ 水道水は煮沸不要(飲料用蛇口は明確に表示)

トイレとシャワー

- ・ 個室の近代的設備で快適・プライバシー確保
- ・ 多様な文化習慣に対応したタイプを用意
- ・ 定期的に清掃・メンテナンス

廃棄物管理

- ・ 地域の環境規制に準拠、リサイクル推進
- ・ 参加者は責任を持って分別・廃棄
- ・ 5種類のゴミ箱システムを導入 ↓下図参照



電気・充電設備

- ・ ユニットサイトは直接電源に接続されませんが、指定エリアで電力を利用可能
- ・ モバイルバッテリー(PowerBank)は指定ステーションで無料充電可能

Wi-Fi・モバイル通信

- ・ 会場の主要エリアで無料Wi-Fiを利用可能(全域ではない)
- ・ 接続補助として、一時的な携帯電話用タワーを設置



3. 食事とフードハウス

3-1 食料配布 - 参加者の食事

目的

- ▶ 誰もが美味しい食事を楽しみ、共通のダイニング体験を通して交流すること。

提供方法: フードマーケット形式

- 各ユニットは代表者を選び、1日3食分の食材を受け取る
- ハブごとに1か所、計4か所のフードマーケットが設置

クックブック:

- 世界中のスカウトと協力して「WSJ 2027クックブック」を作成
- レシピを参考に自分で料理することも可能
- 国際交流や創造性を体験できる機会

ISTの食事

- 中央食堂で提供（朝・夕は食堂、昼はテイクアウト形式）
- 日々の業務スケジュールに合わせて提供

食事に関する要望

- 内容: ベジタリアン・ビーガン、宗教的制限、アレルギー、医療上の制限など登録時に詳細を提出し、変更があれば常に更新
- 生命に関わるアレルギーは早期に報告必須

持続可能性

- 肉の消費を減らし、環境に配慮した食品選択を推奨
- 参加者・ボランティアは環境負荷の少ない選択に協力
- 食育・責任ある消費の意識を高める情報提供あり

3-2 フードハウスの事前情報

フードハウスは、プラザ内に設けられる各国の食文化を紹介し、販売するスペースです。各国派遣団が運営し、参加者や一般見学者が立ち寄ることができます。

コンセプト

- 活気あるフードコート／フェスティバルの雰囲気を出
- 中央に共有座席、周囲に派遣団ごとの飲食提供ブース
- 端にはパフォーマンスやステージを設置

目的

- 文化の多様性を称えつつ、共通の環境で交流
- 飲食を楽しむだけでなく、グローバルな経験や友情を共有

派遣団の参加方法

- 伝統的なスタイルのフードハウスも可
- 省スペース・低コストで多くの派遣団が参加可能
- 料理提供のほか、音楽・ゲーム・ステージパフォーマンスでの貢献も歓迎

今後の案内

- 詳細は2026年初頭に配布予定



4. 健康・安全・アクセシビリティ

4-1 健康と医療体制

優先事項

第26回世界スカウトジャンボリーでは、参加者全員の健康と安全が最優先。保健医療サービス部が過去のジャンボリーや大規模イベントの経験を基に医療計画を策定。

医療施設の概要

- サブキャンプ応急処置室: 軽傷の処置を24時間対応。
- ハブクリニック: 医師常駐、24時間診察可能。
- メインクリニック: X線、超音波、各種検査サービスなど高度な医療提供。
- 移動救助隊・救急車: 会場内で迅速に対応・搬送可能。

支援対象と予防措置

衛生管理、疫学的安全、健康教育を重視。車椅子や松葉杖利用者など、移動に困難がある参加者には必要なサポートを提供。

派遣団との協力

リーダーは参加者の健康状態(慢性疾患、薬、アレルギー、食物不耐症、メンタルヘルスなど)を把握。保護者の連絡先も収集。参加者に医療支援内容や受診場所を事前に説明。応急処置や医療システムの研修を実施。

ボランティアの役割

ISTの資格保持者(医師、看護師、救急救命士)が医療サービスをサポート。各派遣団のボランティアは、グループ内で重要な医療情報を共有し、基本的な健康サポートを提供。

4-2 安全とセキュリティ

基本原則

- 責任の共有、予防、積極性、備えを軸に、安全な環境を維持。
- ジャンボリーの開放的・参加型の精神を損なわずに安全を確保。

事前準備とトレーニング

- リーダー、派遣団、IST向けの事前トレーニングを実施。
- IDバッジ、アクセスゾーンの段階管理、管理された車両進入、スカウト運営のチェックポイントなどでアクセス管理。

内部セキュリティ

- ISTと契約職員が担当。
- リスクベースのパトロール、夜間警戒、インシデント報告。
- スチュワードは緊急対応者および情報発信者として戦略的に配置。

外部リスク管理

- 警察、消防、国境管理局などの州機関と連携し境界警備を実施。
- 監視やリアルタイム通信などテクノロジーを活用。

緊急対応

24時間365日体制のジャンボリー緊急対応センター(EOC)で、軽微な懸念から重大インシデントまで一貫して管理。

共通の責任

安全は全員の責任。テクノロジー、トレーニング、パートナーシップ、警戒を組み合わせ、スカウトが安心して学び、成長し、交流できる環境を提供。



4-3 ジャンボリーにおける「セーフ・フロム・ハーム(SFH)」

目的

- ▶ ジャンボリーを公正で安全、かつ敬意ある体験の場にする。
- ▶ 予防と教育を通じて、すべての参加者の安全を確保。

成人向け必須学習

ジャンボリーに参加する全成人(リーダー、請負業者、ゲストなど)は、3つのeラーニングモジュールを受講する必要があります。

1. 世界および地域スカウトイベントにおけるSFH
 2. ジャンボリーにおけるSFH
 3. ポーランド開催ジャンボリーにおけるSFH
- 修了すると、ジャンボリー参加に必要な証明書が発行されます。

青少年参加者向け学習

- 2026年後半より提供予定。
- パトロールやユニットが準備ミーティングで活用できる期間は約1年。
- 完了は必須ではないが、リーダーはSFHの原則を紹介するために活用することを推奨。

学習内容と教材

- 安全行動の原則、ジャンボリー行動規範、青少年間でよく見られる課題への備えを紹介。
- 教材は派遣団に配布され、グループミーティング、個人参加、オンライン参加など様々な形で活用可能。
- 行動規範はジャンボリー公式ウェブサイトを確認可能。

緊急時対応

- 中程度～深刻なSFH事案が発生した場合、SFHオペレーション・ユニットがCMTの支援を求める場合あり。
- 各派遣団は、担当CMTメンバー1名または連絡先電話番号1つを緊急連絡先として指定。

ポイント

- SFHは予防・教育・迅速対応の組み合わせで実現。
- 成人も青少年も含め、全員の安全と健康確保が最優先

4-4 ジャンボリーにおけるアクセシビリティとインクルージョン(A&I)

目的

- ▶ 第26回世界スカウトジャンボリーでは、史上最もインクルーシブなイベントを目指す。
- ▶ すべての参加者が最大限にジャンボリーを楽しみ、学べる環境を提供。
- ▶ 背景、文化、能力に関わらず、誰にとっても安全で温かく豊かな体験を創出すること。

主要目標

1.プログラムにおけるインクルージョン

- あらゆるアクティビティを、誰も楽しみや学びを逃さないよう柔軟に調整。

2.ソーシャルインクルージョン

- すべての参加者が尊重され、新しい友人やつながりを作れる温かい環境の創造。

3.サービス・施設におけるインクルージョン

- 食料、水、医療支援、緊急対応などの生活必需品が、多様なニーズを持つ参加者 全員に対応可能であることを保証。



4-5 勇敢にインクルーシブな体験を想像する

ビジョン

- ▶ ジャンボリーは、誰もが勇敢に参加できる機会を提供することを目指します。
- ▶ すべての計画は5つの基本原則に基づいています。

5つの基本原則

- 1.ユニバーサルデザイン
キャンプを最初からできるだけ多くの人ができるよう設計。
- 2.アクセシビリティ
誰もが平等に完全参加できるよう、必要なサポートを提供。
- 3.インクルージョン
すべての人が心から歓迎され、貢献が評価されていると感じられる文化を構築。
- 4.公平
様々なニーズを認識し、公平な結果を達成するためにリソースを適切に提供。
- 5.対応対象の範囲
 - 移動能力や物理的アクセシビリティ(聴覚・視覚障害を含む)
 - 身体機能に影響を与える怪我や病気
 - 神経多様性/発達障害(学習障害を含む)
 - 食事の要件(アレルギー、宗教・文化・健康上の制約など)
 - メンタルヘルスの課題
 - アイデンティティ、信仰、文化に関するニーズ

取り組み

- ユニバーサルデザインに基づき、参加者が十分に参加できるよう個別のサポートを提供。
- 障壁を取り除き、誰もが安全で歓迎される環境でジャンボリー体験を享受できることを保証。

4-6 A&Iチームの役割と派遣団の責任

A&Iチームの支援

- 専任チームが、ジャンボリーのあらゆるサービスでアドバイスとサポートを提供。
- 事前準備で参加者のニーズに対応し、最高の体験を実現。
- イベント期間中はリスニング・イヤーステーション近くの「セーフゾーン」を運営。
- セーフ・フロム・ハーム・オペレーションズ・ユニットと連携し、発生した問題の調査・解決を支援。
- 問題について、報告・解決のためのアクセス可能なチャネルを提供。

全員の協力が必要

- 成功は関係者全員の共通責任。特に派遣団長(HoC)は重要な役割を担う。
- 登録時に、派遣団メンバーのアクセシビリティとインクルージョンに関する情報をすべてジャンボリー企画チームに提供する必要がある。
- 情報が欠如または遅延した場合、必要なサポートや合理的配慮の提供が保証されない。

派遣団長の役割

- メンバーが最高の体験を得られるようサポート計画を作成。
- 介助者/ヘルパーのサポートや特別な機器の手配、個々のニーズと対応方法の把握。
- 参加人数制限(例:パトロール10人)に注意しつつ、介助者の同伴も管理。
- 必要な装備や介助者について、参加者・大人から情報を収集。
- CMTから、サブキャンプ管理チームや救急医療・保健医療チームとの窓口担当者を1名選任。

成人ユニット/パトロールリーダーやISTの役割

- 担当参加者の多様なニーズを認識
- 派遣団管理チームと積極的にコミュニケーションを取り、協力してサポート



4-7 ジャンボリーにおけるリスニング・イヤヤー

目的

- ▶ 青少年・成人が直面する感情的・精神的な困難に耳を傾け、サポートを提供する。
- ▶ 参加者、派遣隊指導者、IST、CMTなど誰もが、困難に直面した際に理解され、安全と感じられる空間を提供する。

人数と配置

- 100名以上のリスニングイヤヤーがジャンボリーをサポート。
- ハブ、プラザ、プログラム会場など主要な場所にリスニングイヤーステーションを設置。

セーフゾーン

- リスニングイヤーステーションには、過剰な刺激を軽減する静かな空間「セーフゾーン」を併設。
- サポートを受けた後、ジャンボリーの活動に戻る前の休憩スペースとして利用可能。
- 医療支援を受けた参加者や大人も利用可能。

運営時間

- 終日オープン。
- 主要イベント期間中もサポートを提供。

リスニングイヤヤーの役割・資格

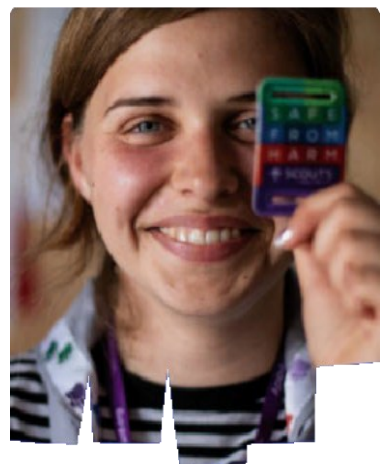
- ジャンボリー参加者のウェルビーイングを支える重要な役割。
- 心理学者である必要はなく、必要なのは以下：
 1. **SAFE FROM HARM(SFH)**の理念を理解
 2. 優れたコミュニケーション能力
 3. 語学力
 4. 心を開き、思いやりのある態度
- 適任者はISTとして応募し、オンボーディング時に特別なトレーニングを受ける。

派遣団長への提案

- 派遣団内にリスニングイヤヤーを任命することを検討。
- 母国語で感情的・心理的サポートが受けやすくなる。

呼びかけ

- 適任者の推薦やチームへの紹介を奨励。
- 他国のNSOメンバーにもシェアして、素晴らしい人材を見つける支援をお願いします。



5. 国際サービスチーム(IST)準備状況

5-1 ISTプログラム

ISTプログラムは5つの主要分野で構成され、ボランティアは自分の興味や体力に合わせて活動を選べます。活動を通して、新しい経験や友情を持ち帰ることができます。

1. アドベンチャー

- ・ビーチでの水遊びや泳ぎ、ハイキング
- ・キャンプ場でのウォーキング、宝探しゲーム、朝・夕ランニング

2. チルアウト

- ・ハンモックでのリラックス、読書、瞑想やヨガ
- ・小さなサウナや塩水フットバスで静かな回復時間

3. カルチャー

- ・音楽、食事、地元文化の体験
- ・キャンプファイヤー、楽器演奏、歌やダンス
- ・グダニスクのセルフガイドツアーや美術館訪問

4. キャンプ

- ・ボードゲーム、カラオケ、クイズ、スポーツ(サッカー・フリスビー・バレーボール)
- ・バッジ交換やカフェでのくつろぎ
- ・IST Got Talentや開会式・閉会式などのイベント

5. イノベーション

- ・トレーニング&エクスプローリングテントでスカウトトーク、ワークショップ、ディスカッション
- ・日々の奉仕活動を超えたスキルや知識の学びの場

5-2 IST研修と開発

ISTとして活動することは、仕事や遊びだけでなく、自己啓発の機会でもあります。IST研修開発プログラムは3段階で構成されます。



BASE
CAMP



EXPLORER
TRACKS



HORIZON
EXPLORATION

1. ベースキャンプ(eラーニング)

- ・すべてのISTが参加
- ・ジャンボリーの基本運営、スカウティングの価値観、異文化理解
- ・緊急時の手順やプロトコルなど、基本的な知識・スキル・姿勢を習得

2. エクスプローラー・トラック(現地研修)

- ・ジャンボリー開始時に現地で実施
- ・各部門での役割や安全要件を学ぶ
- ・ロジスティクス、緊急時対応、プログラム調整などの技術スキルを習得

3. ホライズン・エクスプロレーション(振り返り・継続)

- ・経験を振り返り、新しいネットワークを構築
- ・ジャンボリー後もレガシー活動や地域活動に参加
- ・デジタル証明書で参加と貢献を確認し、今後の成長を支援



5-3 IST準備スケジュール

以下は、IST(INTERNATIONAL SERVICE TEAM)に関する大まかなスケジュールです。

日付	内容
2026年3月	デジタル版「ISTジョブカタログ」を公開
2026年5月	一般IST向けEラーニングを開始
2026年5月15日 ~ 2027年2月1日	登録済みISTはジョブ選択プロセスにアクセス可能(*)
2027年4月	ISTにジョブ配属通知
2027年4月 ~ 6月	ISTジョブ別オンライン研修
2027年7月	ISTジョブ別現地研修

※ジョブ選択プロセスの詳細な手順は、後日公開されます。

5-4 到着日と出発日

ISTは、7月27日に到着し、8月10日に出発する予定です。

参加者(パトロール)は7月29日に到着し、8月9日に出発する予定です。

参加者の到着はパトロールでのみ行われます。

同伴者のいない未成年者は、チェックインセンターに単独で到着することはできません。ユース参加者は全員、パトロールと一緒に到着する必要があります。

公式エントリーポイント

以下の場所が公式エントリーポイントとして指定されています：

- ▶グダニスク・レフ・ヴァレサ国際空港(GDN)
- ▶グダニスク中央駅
- ▶グダニスク・フェリーターミナル
- ▶グディニア・フェリーターミナル
- ▶AMBEREXPO駐車場

チェックインセンター(AMBEREXPO)

チェックインセンターは、展示・貿易ホールであるAMBEREXPO(ŻAGLOWA 11, GDAŃSK)にあります。公式エントリーポイントに到着した参加者は全員、シャトルバスでチェックインセンターまで移動します。

そこでチェックイン手続きが行われ、その後ジャンボリー会場へ向かいます。

自家用バスでエントリーポイント「AMBEREXPO駐車場」に到着した参加者は、チェックイン手続き完了後、同じバスでキャンプサイトまで移動します。

チェックインセンターでチェックインを完了せずにジャンボリーキャンプサイトへ入場することはできません。チェックインセンターを通過せずにジャンボリーゲートから入場する個人または車両は許可されません。

到着・出発およびチェックイン手続きに関する詳細は、専用の回覧板でお知らせします。



5-5 ISTメンバーとして期待できること

IST(国際サービスチーム)は、世界中から集まった成人ボランティアで構成され、ジャンボリーの運営を支えます。日々の活動を安全かつ円滑に管理し、イベントの成功に重要な役割を果たします。

ISTで得られる経験

・やりがいと成長: 挑戦的なプログラムに参加し、自分のスキルや経験を広げる

・BRAVELYの実践:

- ◆ EXPLORE: 新しい役割や文化を体験
- ◆ ACT: 積極的に貢献
- ◆ OVERCOME: 困難に立ち向かう
- ◆ LEAD: 行動で他者を鼓舞

・研修・スキル: ジャンボリー後もキャリアや生活に役立つ研修の機会

主な役割

- プログラム: 青少年向けアクティビティの運営
- 安全・医療: 警備、救急対応、健康管理
- 会場運営: 物資管理、インフラ整備、維持管理
- 食品・小売: 食事提供、販売業務
- サブキャンプ・ハブ: 参加者の滞在サポート
- 資格認定・ゲストサービス: チェックインや訪問者対応
- 派遣団関係: 派遣団サポート、テント運営
- 輸送: 到着・出発・会場内移動の調整
- 式典: 主要イベントの企画・実施
- メディア・コミュニケーション: 広報・情報管理



6.その他情報として...

6-1 派遣団の規模と成人ボランティア

派遣団人数制限

最大人数:ジャンボリー参加者総数の10%(3,600人まで) 成人ボランティアは青少年参加者の人数を超えられません

成人ボランティアの役割

成人パトロールリーダー(APL)

各パトロールに1名同行

青少年の支援・指導・安全管理

2027年7月30日時点で18歳以上

国際奉仕チーム(IST)メンバー

ジャンボリー運営を支援

18歳以上、派遣団経由で募集

派遣団の成人人数制限に注意

派遣団管理チーム(CMT)メンバー

派遣団のロジスティクス・福利厚生・運営管理

18歳以上

特別役割の事前IST選考

フードハウスや派遣団本部テントの支援など特定の役割に対し、ISTを事前選考可能
登録詳細は回覧・フードハウス関連資料で案内

2025年11月1日以降、追加の事前選考も可能

6-2 派遣団本部(CMT)の学習と自己啓発

オンラインでのセッションを通じ、CMTメンバーや派遣団長(HOC)が以下を学習:

- ▶ 効果的なチーム構築
- ▶ 明確かつ包括的なコミュニケーション
- ▶ 自己啓発・健康・運営・旅行ロジスティクス
過去のHOC/CMT経験者の知見を共有
- ▶ セッションは録画され、リソースライブラリで参照可能

ジャンボリーは成人ボランティアにとっても学びと成長の機会。

2025年末からオンラインセッションを開催

CMT構築、明確で包括的なコミュニケーション、個人の成長支援、心身の健康管理、運営、渡航ロジスティクス、安全・セキュリティ、キャンプ運営などジャンボリー関連テーマ
過去のHOC/CMT経験者の知見も共有

セッションは録画され、リソースライブラリからいつでも参照可能

派遣団長会議(HOC会議)

第3回:2026年7月22日~26日(グダニスク)

第4回:2027年4月2日~4日(グダニスク)

内容:ジャンボリー計画の最新情報、質疑応答、ネットワーキング・交流
詳細は追って案内となります。



6-3 特別役割のためのIST事前選考

派遣団本部(CMT)は、派遣団本部テントの運営やフードハウスなど特定役割に対して、ISTメンバーを事前選考できます。

2025年11月1日以降、フードハウスにおける事前選考済みボランティアを追加できる機会があります。このプロセスはフードハウスのISTのみに適用されます。

※日本派遣団として、フードハウスの出店の予定はありません。

6-4 HOSTED HOSPITALITY PROGRAMME

-ホスト・ホスピタリティ・プログラムの紹介-

※日本派遣団のHoHo参加は、派遣団編成前の締め切りであったため実施しませんが、情報のみ共有いたします。

・対象

14～17歳のスカウトが対象で、ジャンボリーの前後いずれか1週間、ポーランドのスカウト隊と共に活動します。

・内容

ポーランドのスカウト伝統、野外活動、文化体験を、現地スカウトとの合同キャンプやワークショップ、文化探訪を通じて体験します。

ホストキャンプは、マズリ湖水地方、ビエシュチャディ山脈、歴史的都市部など、ポーランド各地で実施予定です。

・概要

ホスト・ホスピタリティ・プログラムは、第26回世界スカウトジャンボリー参加者向けの任意参加プログラムです。

・特典

プログラム修了者には、特別なジャンボリーバッジが授与されます。

・参加意向調査

派遣団は、参加希望者数をWebフォームにて、2025年12月末までに提出してください。

・注意事項

定員制・先着順で、海外スカウトとポーランドスカウトとのマッチング制となります。

・今後の案内

詳細な応募方法やホストキャンプの場所などは、今後の広報で案内されます。

以上

